

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成26年11月6日(2014.11.6)

【公開番号】特開2013-102595(P2013-102595A)

【公開日】平成25年5月23日(2013.5.23)

【年通号数】公開・登録公報2013-026

【出願番号】特願2011-244338(P2011-244338)

【国際特許分類】

H 02 J 7/00 (2006.01)

H 02 M 3/155 (2006.01)

B 60 L 11/18 (2006.01)

B 60 L 3/00 (2006.01)

【F I】

H 02 J 7/00 S

H 02 J 7/00 H

H 02 M 3/155 C

H 02 M 3/155 W

B 60 L 11/18 A

B 60 L 3/00 J

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月22日(2014.9.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

前記複数のスイッチング素子は、前記第1および第2の電力線の間に直列に順に接続された第1から第4のスイッチング素子を含み、

前記電力変換器は、

前記第2および第3のスイッチング素子の接続ノードと前記第2の電力線との間に、前記第1の直流電源と直列に接続された第1のリアクトルと、

前記第1および第2のスイッチング素子の接続ノードと、前記第3および第4のスイッチング素子の接続ノードとの間に、前記第2の直流電源と直列に接続された第2のリアクトルとをさらに含む、請求項1記載の電源システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

好ましくは、複数のスイッチング素子は、第1および第2の電力線の間に順に直列に接続された第1から第4のスイッチング素子を含む。電力変換器は、第1および第2のリアクトルをさらに含む。第1のリアクトルは、第2および第3のスイッチング素子の接続ノードと第2の電力線との間に第1の直流電源と直列に接続される。第2のリアクトルは、第1および第2のスイッチング素子の接続ノードと第3および第4のスイッチング素子の接続ノードとの間に、第2の直流電源と直列に接続される。